

2021年度(2020年度実施分)政策評価結果 に対する意見集

本意見集は、豊中市総合計画審議会の審議過程において各委員から出された意見を取りまとめたものです。

今後、政策評価の運用にあたっては、本意見集及び添付している各部会の議事要旨をご活用いただくことをお願いするものであります。

令和4年(2022年)1月24日

豊中市総合計画審議会
会長 加藤 晃規

2021年度(2020年度実施分)政策評価結果に対する意見

当審議会では、2021年度(2020年度実施分)政策評価結果において、第三者の立場から、政策評価が事実に基づいて正しく評価されているか、P D C Aサイクルがまわるような書き方になっているか、市民が読んだときにわかりやすくなっているかの視点から審議を行い、意見として取りまとめましたので、報告します。

◆総論について

1	<p>【評価シート全体を通して】</p> <p>コロナ禍における施設の休館やイベントの中止があり、評価指標の実績値が大きくダウンした施策も数多く見られる。その中で抜本的な見直しが必要なC評価の施策や施策の方向性が見られないこと、またP D C AサイクルがうまくまわっているA評価の施策や施策の方向性が数多く見られることは大いに評価できる。</p>
2	<p>【評価シートの記入内容について】</p> <p>昨年より評価シートの各項目の記載内容の関係がわかりやすくなり、施策に関する担当課の考えが伝わるように書いている評価シートが多く見受けられる。次回の評価でも本意見集を参考に、よりわかりやすいシートを作成することを期待する。</p>
3	<p>【シートの記入内容について】</p> <p>評価シートの成果や問題点の記述において、コロナ禍を想定外の要素として扱い、P D C Aへの影響を重く見ない例も散見される。特に、指標値が大きくダウンしているような場合には、総合評価や進捗状況の評価にコロナ禍の影響も適切に反映すべきである。ただし、コロナ禍の社会的影響は大きく、その対処に向けて方針を柔軟に変更することはP D C Aサイクルが想定するところであり、総合評価や進捗状況の記載変更が妥当な場合があることを念頭に置きたい。</p>

4	<p>【シートの記入内容について】</p> <p>「問題点」と「今後の方針」が整合していないものも少なくない。PDCAのCAにあたるためであり、「問題点」の解決のための「今後の方針」であることをより意識して記述してほしい。</p>
5	<p>【総合評価の根拠について】</p> <p>B評価をしているシートの中でも、PDCAサイクルの観点ではA評価と判断できるものがある。「B」評価とは、取組みの微調整の必要があることを意味するため、具体的にどのような課題が残ったのかを評価し、その対応策まで書くべきである。</p>
6	<p>【成果の根拠の書き方について】</p> <p>成果に記述する内容は、指標もしくは本文中から読み取れるよう、数値的な根拠をもって書くよう心がけられたい。</p> <p>(例)</p> <p>①第2章-2-(2)では、「子宮頸がんワクチンの接種率増加につながった」とあるが、指標欄には子宮頸がんワクチンについての数値が示されていないので、成果の本文中に数値を記載するとより分かりやすくなる。</p> <p>②第2章-3-(1)では、影響度の大きかった事業において、WEB講習やYOU TUBE配信を行ったと挙げているので、成果において講習受講者数やアクセス数等も記載すると現時点での成果が見えやすくなる。</p>
7	<p>【成果の書き方について】</p> <p>全般的に取組みばかりが記入されていて、成果が見えないシートが見受けられるが、本来はアウトカム（社会的成果）で記述すべきである。</p> <p>(例)</p> <p>第1章-2では「研修を実施した、タブレットを活用した、協定を締結した」等「Do」が多く記載されているが、「感染症予防と保育の質向上のための研修を行った結果、クラスタを発生させずに保育の質自体を維持できた」といった書き方が望ましい。</p>

8	<p>【総合評価の根拠について】</p> <p>A評価をしているシートの中でも、その根拠が不十分なものがある。指標等が大きく減少している中でもA評価(順調に進んでいる)である根拠を書く必要がある。</p>
9	<p>【施策の方向性シートのPDCAサイクルについて】</p> <p>今年度、多くの施策の方向性シートで新型コロナウイルス感染症の影響と対応について記述されている。今後も、「成果」や「問題点・今後想定される事項」の記載にあたっては、施策の方向性と関係のある社会問題や環境の変化、制度変更などへの対応について検討し、その結果を「今後の方針」に反映させることで、よりPDCAサイクルが回るようになる。</p>

◆各論について

1. 第1章「子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり」

1	<p>【総合評価の理由について】</p> <p>施策名(P L A N)の「未来を切り拓く力が育まれる」ことへの達成度(成果)が分かりにくいので、わかりやすく記載する必要がある。</p>
2	<p>【成果の書き方について】</p> <p>コロナ禍における子ども食堂フードデリバリー事業の創設など画期的な取り組みを記載しているが、こうした新たな取り組みをコロナ禍において開始されたことは意義が大きいと感じる。成果が出ているのであれば記入し、評価にも反映してもいいのではないか。また、このような肯定的な評価をより積極的に行う風土を浸透させることを期待する。</p>

2. 第2章「安全に安心して暮らせるまちづくり」

1	<p>【第2章-1：総合評価の理由について】</p> <p>評価の理由が「地域共生社会実現のための相談支援体制強化が必要・・・Bとした」とあるが、地域共生社会実現は簡単に達成できるものではなく、Bの根拠が分かりにくい。</p>
2	<p>【第2章-4：総合評価の理由について】</p> <p>もともと「対策の充実」よりも「安全の確保」といったアウトカム表現が望ましいと思うが、取り組み自体は着実かつ住民との連携をとったものに見受けられる。そのため、評価根拠としては、事業(アウトプット)の量ではなく、住民(組織)に安全対策の情報共有が浸透していった、など成果中心に記載するよう心がけられたい。</p>

3. 第3章「活力ある快適なまちづくり」

1	<p>【第3章-1：総合評価の理由について】</p> <p>「一部未達成の部分や課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と記載しているが、「環境基準で一部未達成なものがあり、またコロナ禍の影響を受けて数値が下がっている指標があるなど課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と具体的に書いたほうが分かりやすくなる。</p>
2	<p>【第3章-1-(2)：今後の方針の書き方について】</p> <p>「みどりの質の向上と活用を図り、みどりを活かした安全で快適な暮らしの実現」とあるが、「みどりの質の向上と活用」とは、公園緑地の整備のことか、農地の保全・活用のことであるのか、曖昧でわかりづらい。また、みどりを活かすことがいかに「安全な暮らし」につながるのかが、成果等にもその因果関係は説明されておらず、今後の指針として「みどり」による安全な暮らしを掲げるのであれば、その現状や手段等についても更なる説明が必要である。</p>

4. 第4章「いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり」

1	<p>【第4章-1：総合評価の理由について】</p> <p>「人権についての市民意識調査」について記入しているが、この調査について、施策の方向性シートでは、影響のあった事業、指標、成果等の欄に記載がない。総合評価の理由となる取組みなので、施策の方向性シートでもその内容や調査結果等記載するとわかりやすくなる。</p>
---	--

5. 第5章「施策推進に向けた取組み」

1	<p>【第5章-1：総合評価の理由について】</p> <p>アウトカム指標が（簡便に）取りづらい領域であり、その意味でB評価は妥当と思う。ただし総合評価の理由づけとしては、アウトカム指標が（簡便に）取りづらい領域であることを根拠にした方がP D C A評価に馴染むと思われる。</p>
2	<p>【第5章-1：総合評価の理由について】</p> <p>最後の記述で「協働の意識の浸透等」が必要とあるが、上の○にはそれに相当する記載がない。だれにとってどのような意識が浸透していないのか、具体的な記述が必要である。</p>

6. リーディングプロジェクト「南部地域活性化プロジェクト」

1	<p>【総合評価の理由について】</p> <p>プロジェクトの評価はしているが本来のP L A Nである「南部地域の活性化」の観点からP D C Aの評価を心がけられたい。評価にあたっては、市民、地域住民の参画の視点を意識されたい。</p>
---	--